経営比較分析表（令和4年度決算）

岩手県　一関市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m^{3}当たり家庭料金(円)
-	55.92	36.06	95.72	3,300

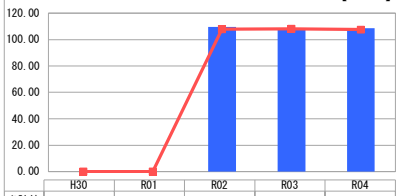
人口（人）	面積(km^2)	人口密度(人/km^2)
109,697	1,256.42	87.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km^2)	処理区域内人口密度(人/km^2)
39,156	15.35	2,550.88

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

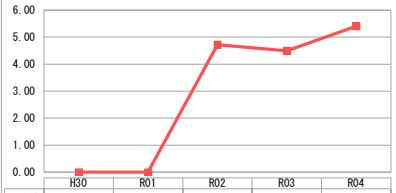
【106.11】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	109.57	108.44	108.71
平均値	-	-	107.85	108.04	107.49

②累積欠損金比率(%)

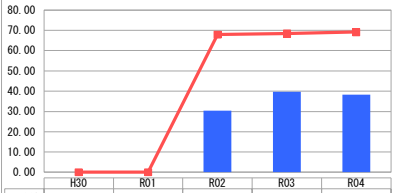
【3.15】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	0.00	0.00	0.00
平均値	-	-	4.72	4.49	5.41

③流動比率(%)

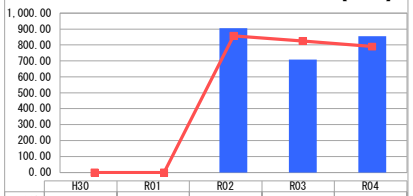
【73.44】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	30.50	39.70	38.38
平均値	-	-	67.93	68.53	69.18

④企業債残高対事業規模比率(%)

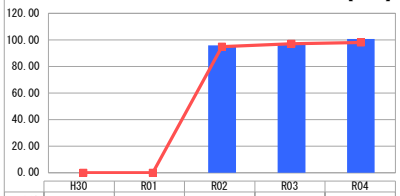
【652.82】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	906.55	709.27	854.33
平均値	-	-	857.88	825.10	789.87

⑤経費回収率(%)

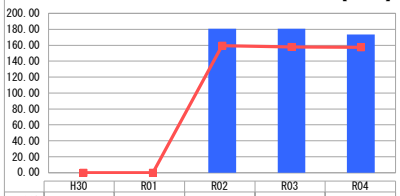
【97.61】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	95.85	96.38	100.80
平均値	-	-	94.97	97.07	98.06

⑥汚水処理原価(円)

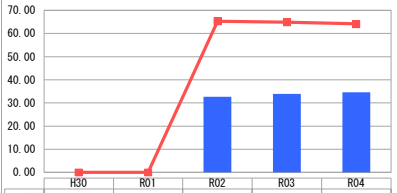
【138.29】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	180.82	180.55	173.27
平均値	-	-	159.49	157.81	157.37

⑦施設利用率(%)

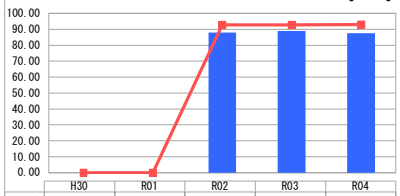
【59.10】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	32.66	33.97	34.56
平均値	-	-	65.28	64.92	64.14

⑧水洗化率(%)

【95.82】

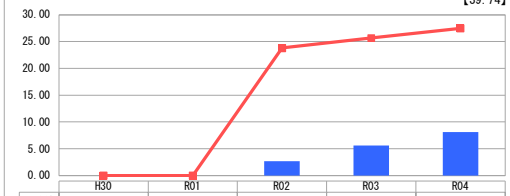


	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	87.97	88.99	87.65
平均値	-	-	92.72	92.88	92.90

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

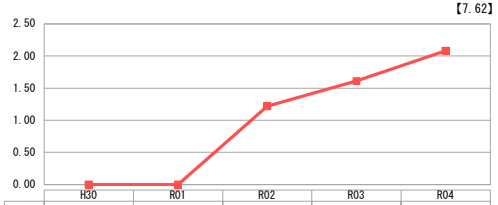
【39.74】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	2.68	5.64	8.12
平均値	-	-	23.79	25.66	27.46

②管渠老朽化率(%)

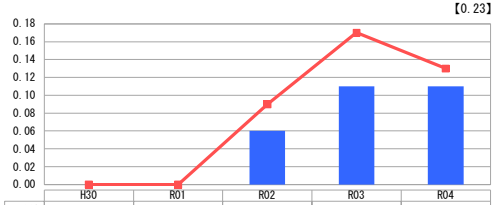
【7.62】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	0.00	0.00	0.00
平均値	-	-	1.22	1.61	2.08

③管渠改善率(%)

【0.23】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	-	-	0.06	0.11	0.11
平均値	-	-	0.09	0.17	0.13

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和２年度の法適化から３回目の決算となった。
経常収支比率は、類似団体平均・全国平均を若干上回っているものの、他会計繰入金に依存している状況である。
流動比率は、類似団体平均・全国平均を大きく下回っているが、法適化して間もないこともあり、流動資産が少ない状況にある。
企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均・全国平均を上回っている状況にある。未普及対策事業の実施により当面は高水準が続くと見込まれるが、長期的な財政見通しを踏まえ、適切に企業債残高の管理を行っていく。
経費回収率は、類似団体平均並みとなっているが、他会計繰入金に依存している状況である。
汚水処理原価は、類似団体平均・全国平均を大きく上回っており、要因として、水洗化率が低いこと、地理的要因等により整備費が大きく資本費が高いこと等が考えられる。
施設利用率は、類似団体平均・全国平均を大きく下回っていることから、水洗化率の向上に向けたさらなる取り組みや処理施設のダウンサイジング等を図っていく必要がある。
水洗化率は、類似団体平均・全国平均を下回っていることから、令和８年度の概成に向け、更なる普及活動を通じ向上させていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

老朽化の状況は、全体的に類似団体平均・全国平均を下回っている状況であるが、今後、老朽化に伴う施設の更新改修が増加することが見込まれることから、ストックマネジメント計画を基に計画的な実施を進めていく。

全体総括

令和２年度の法適化から３回目の決算となった。
経常収支比率や経費回収率は、類似団体平均・全国平均並みとなったが、他会計繰入金に依存している状況であることから、使用料収入の増、費用の節減に努め、経営改善を図っていく。
また、令和４年度に実施した汚水処理計画及び経営戦略の見直しを踏まえ、経営健全化に向けて計画的に取り組んでいく。